第 59 回技能五輪全国大会開催計画

令和３年４月 27 日

大会会長
中央職業能力開発協会会長　釜　　和明
東京都知事　小池　百合子

１　目的

第 59 回技能五輪全国大会（以下「全国大会」という。）は、国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。

また、全国大会において、令和４年 10 月に中国・上海で開催される第 46 回技能五輪国際大会（以下「国際大会」という。）で、実施が見込まれる競技職種に関連する一部の競技職種に係る選手の選考（一部職種は一次選考）を行うこととする。

２　主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会(以下「中央協会」という。）及び東京都

３　後援（依頼予定）

文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県（東京都を除く）、都道府県職業能力開発協会、ＮＨＫ、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、一般社団法人全国技能士会連合会、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本産業訓練協会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

４　特別後援

東京都大田区

５　協賛

全国大会の実施に当たり、企業等に対し競技用材料、役務等に関する各種協賛を依頼する予定。

６　協力

全国大会の実施に携わる運営委員、競技委員等の大会役員について、後援組織、業界団体、企業等に対し当該大会役員への就任に係わる協力を依頼する予定。

７　日程

令和３年 12 月 17 日(金)～12 月 20 日(月)

(一部職種については、競技を先行して実施する予定。)

12 月 17 日（金）　競技会場下見等
　　開会式

12 月 18 日（土）　競技実施

12 月 19 日（日）　競技実施
　　採点及び技術委員会

12 月 20 日（月）　成績発表（閉会式会場）
　　閉会式

８　競技職種

次の 42 職種について実施を予定。

[1] 機械組立て	[2] プラスチック金型	[3] 精密機器組立て	[4] メカトロニクス
[5] 機械製図	[6] 旋盤	[7] フライス盤	[8] 構造物鉄工
[9] 電気溶接	[10] 試作モデル製作	[11] タイル張り	[12] 自動車板金
[13] 曲げ板金	[14] 配管	[15] 電子機器組立て	[16] 電工
[17] 工場電気設備	[18] 石工	[19] 左官	[20] 家具
[21] 建具	[22] 建築大工	[23] 貴金属装身具	[24] フラワー装飾
[25] 美容	[26] 理容	[27] 洋裁	[28] 洋菓子製造
[29] 自動車工	[30] 西洋料理	[31] 造園	[32] 和裁
[33] 日本料理	[34] レストランサービス	[35] 車体塗装	[36] 冷凍空調技術
[37] ＩＴネットワークシステム管理	[38] 情報ネットワーク施工	[39] ウェブデザイン	[40] とび
[41] 時計修理	[42] 移動式ロボット		

[注] 上記の職種のうち、[11]タイル張り、[19]左官、[25]美容、[26]理容、[30]西洋料理の５職種については、令和４年 10 月に中国・上海で開催される国際大会において競技の実施が見込まれる関連職種に係る選手の選考（[25]美容、[26]理容は一次選考）を兼ねることとする。

９　競技会場（予定）[注 1、注 2]

・東京ビッグサイト
・都立中央・城北職業能力開発センター板橋校
・都立城南職業能力開発センター大田校（大鳥居旧校舎）
・都立城東職業能力開発センター
・都立多摩職業能力開発センター

・都立多摩職業能力開発センター府中校
・都立木場公園
・東京都港湾局用地
・千葉職業能力開発促進センター［ポリテクセンター千葉］
・千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター［高度ポリテクセンター］
・大田区産業プラザ Pi0
・学校法人啓倫学園　国際製菓専門学校
・学校法人誠心学園　東京誠心調理師専門学校
・学校法人後藤学園　武蔵野調理師専門学校
［注 1］参加選手数の増減等の理由により変更となる場合がある。
［注 2］各競技会場の所在地及び実施する競技職種は、別紙のとおり（予定）。

10　大会参加資格（共通）

全国大会の参加資格は、次のいずれにも該当する者に与えるものとする。ただし、「11　大会参加資格（個別）」に定める一部の競技職種については、当該規定に定める要件も併せて満たすことを要する。

（１）全国大会開催年に 23 歳以下（平成 10[1998]年１月１日以降に生まれた者）であること。
ただし、メカトロニクス職種、和裁職種及び情報ネットワーク施工職種については、全国大会開催年に 24 歳以下（平成９[1997]年１月１日以降に生まれた者）であること。

（２）「11　大会参加資格（個別）」に定める一部の競技職種を除き、原則として、次に掲げるア又はイのいずれかに該当する者であって、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）会長又は関係協力団体等から中央協会会長に推薦された者で全国大会に出場するに相応しい技能を有していると認められる者であること。
ア　都道府県ごとに実施される全国大会都道府県予選会において、優秀な成績を収めた者であること。
イ　予選会で競技が実施されない競技職種にあっては、当該職種の近年の競技課題について、指定された時間内に完成することができる技能を有し、全国大会への参加に相応しいと認められる者であること。

（３）過去の技能五輪国際大会で同一職種の競技に参加したことのない者であること。

11　大会参加資格（個別）

次に掲げる競技職種は、「10　大会参加資格（共通）」に規定する要件に加え、それぞれの競技職種ごとの要件を全て満たすことを要する。

ただし、（１）メカトロニクス職種及び（７）ウェブデザイン職種については、ア又はイのいずれかを満たすことで足りる。

（１）メカトロニクス職種
ア　学生、訓練生等は、第 16 回若年者ものづくり競技大会（以下「若年大会」という。）[注1]に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。
イ　メカトロニクス職種に参加を希望する選手（企業等に就業していない学生、訓練生等を除く）については、各事業所１チームとし、２チームを参加させる事業所については、

残り１チームを対象に中央協会が別途行う全国大会メカトロニクス職種選考会[注2]において、特に優秀な成績を収めた者であること。

なお、当該選考会については、全国大会競技会場における競技実施可能数等を考慮し、不要となる場合は実施しない。

（２）「旋盤」職種

旋盤職種に参加を希望する選手については、中央協会が別途行う全国大会旋盤職種二次予選会[注3]（令和３年７月下旬実施予定。以下、単に「二次予選会」という。）において、特に優秀な成績を収めた者であること。

なお、当該職種は技能検定「機械加工職種（普通旋盤作業）」の２級実技課題を全国大会都道府県予選会の課題としていることから、二次予選会参加者は、二次予選会実施時に２級実技試験の合格水準に達している者であること。

また、第 58 回技能五輪全国大会において入賞（金・銀・銅・敢闘賞）した選手については、二次予選会において、特に優秀な成績を収めた者と同等以上の技能を有すると認められることから、二次予選会への参加は免除となる。

なお、全国大会参加希望者が 40 名以下の場合は、二次予選会を実施しない。

（３）「電子機器組立て」職種

電子機器組立て職種に参加を希望する選手については、中央協会が別途行う全国大会電子機器組立て職種二次選考会[注4]（令和３年８月下旬実施予定。以下、単に「二次選考会」という。）において、特に優秀な成績を収めた者であること。

なお、当該職種は技能検定「電子機器組立て（電子機器組立て作業）」の２級実技課題を全国大会都道府県予選会の課題としていることから、二次選考会参加者は、二次選考会実施時に２級実技試験の合格水準に達している者であること。

また、第 58 回技能五輪全国大会に出場した選手（特例通過者は除く。）は、二次選考会において、特に優秀な成績を収めた者と同等以上の技能を有すると認められることから、二次選考会への参加は免除となる。

なお、全国大会参加希望者が 50 名以下の場合は、二次選考会を実施しない。

（４）「自動車工」職種

学生、訓練生等は、若年大会に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。

（５）「ＩＴネットワークシステム管理」職種

学生、訓練生等は、若年大会と同時期に実施される選考会において、特に優秀な成績を収めた者であること。

（６）「情報ネットワーク施工」職種

情報ネットワーク施工職種に参加を希望する選手については、全国大会選手選考会[注5]において、特に優秀な成績を収めた者であること。

（７）　「ウェブデザイン」職種

ア　若年大会に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。

イ　ウェブデザイン職種に参加を希望する選手については、全国大会選手選考会[注6]において、特に優秀な成績を収めた者であること。

（８）「移動式ロボット」職種

学生、訓練生等は、若年大会に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。

［注 1］若年大会について

・令和３年８月に実施予定。

・同大会の開催計画、募集要項等は、別途定める。

・同大会は、大会開催年度に原則として 20 歳以下である若者（平成 13[2001]年４月２日以降に生まれた者）を対象とした大会であるが、メカトロニクス職種、自動車整備職種、ウェブデザイン職種及びロボットソフト組込み職種の４職種に関しては、全国大会の選考会を兼ねることとしているため、全国大会に参加を希望する者（企業等に就業していない学生、訓練生に限る。）については、20 歳を超える場合であっても、同大会の当該職種競技に参加できるものとする。ただし、この場合にあっては、同大会の表彰対象外とする。

［注 2］全国大会選考会（メカトロニクス）について

・同選考会を実施する場合は、募集要項及び免除対象者については、別途定める。

［注 3］全国大会二次予選会（旋盤）について

・同予選会の募集要項等は別途定める。

［注 4］全国大会二次選考会（電子機器組立て）について

・同選考会の募集要項等は別途定める。

［注 5］全国大会選手選考会（情報ネットワーク施工）について

・当該職種については、情報配線施工職種技能検定実施の指定試験機関である特定非営利活動法人高度情報通信推進協議会が選手選考会を行い、全国大会に参加する選手を選抜する。

［注 6］全国大会選手選考会（ウェブデザイン）について

・当該職種については、ウェブデザイン職種技能検定実施の指定試験機関である特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会が選手選考会を行い、全国大会に参加する選手を選抜する。

12　参加選手数等

（１）各競技職種における競技実施に必要な選手の数は、参加申請締切時点において、原則として７人（競技職種によっては７チーム）以上とする。

（２）全国大会への参加選手数については、競技用設備、競技会場等を勘案し、参加選手数に上限を設けることとし、参加希望者数がこの上限を超えた場合は、中央協会において参加選手数を調整することとする。

13　全国大会への選手参加形式

（１）都道府県協会は、全国大会に出場する選手を取りまとめて、都道府県単位で選手団を編成する。また、団長のほか、必要に応じて副団長、幹事長、幹事等を選任する。

（２）業界団体等都道府県協会以外から推薦された選手については、別途、中央協会から都道府県協会に対して当該選手の選手団への加入を依頼する。

14　参加費等

競技職種ごとに定めた選手一人当たりの参加費等を中央協会において徴収する。

15　表彰

成績優秀な者及び選手団に対して、次のとおり表彰を行う。

（１）各競技職種において最も優秀な成績を収めた者、それに準ずる成績を収めた者、さらにそれに準ずる成績を収めた者及び左記の成績に準ずる成績を収めた者に対して、主催者賞として賞状並びに金賞、銀賞、銅賞及び敢闘賞の各メダルを授与する。

（２）各競技職種の金賞受賞者に対して、厚生労働大臣賞として楯を授与する。

（３）上記（１）及び（２）に掲げるもののほか、本大会の目的に合致する範囲において、特別賞を別に設けることができる。

（４）最も優秀な成績を収めた都道府県選手団に対して、厚生労働大臣賞として最優秀技能選手団賞の賞状及び楯を授与する。

（５）優秀な成績を収めた都道府県選手団に対して、厚生労働省人材開発統括官賞として優秀技能選手団賞の賞状及び楯を授与する。

（６）（５）に次ぐ上位の成績を収めた都道府県選手団に対し、中央協会会長賞及び全国技能士会連合会長賞の賞状及び楯を授与する。

16　大会開催に影響する事態が発生した際の対応等

（１）大会開催に影響を及ぼし得る事態が発生した場合、日程変更や大会開催の可否等について、当協会ホームページにてお知らせする予定。また、大会が開催された際も、競技を安全に実施できないと判断した場合、やむを得ず競技を中止する場合がある。

（２）競技の中止等いかなる場合も、参加費等の受領後の返金はしない。

（３）新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を含めて、競技における安全衛生の確保等の観点から、参加者には別途対策を依頼する場合がある。参加者はその指示に従うものとし、従わない場合には、競技への参加を断ることがある。

17　国際大会の出場選手選考

（１）国際大会への派遣は、次に掲げる国籍、年齢等の国際大会規約に定められた条件の全てを満たす者に限ることとする。

・日本国籍を有する者

・平成 11[1999]年１月１日以降に生まれた者（情報ネットワーク施工職種、メカトロニクス職種については、平成８年[1996]年１月１日以降に生まれた者）

・過去に国際大会に出場したことがない者

（２）全国大会は、第 46 回国際大会で実施が見込まれる競技職種に関する一部の職種に係る選考を行うこととしていることから、全国大会が中止となった場合には、別途全国大会の参加予定者に対して国際大会への参加の募集、選考等を行うこととしている。

18　その他

競技課題（公表分に限る。）、競技職種別参加選手等については、中央協会ホームページ（https://www.javada.or.jp/）に順次掲載予定である。

－以上－

第59回技能五輪全国大会　競技職種及び競技会場（予定）　　**別　紙**

競技職種		競技会場
1	機械組立て	東京ビッグサイト 江東区有明3-11-1
4	メカトロニクス	
5	機械製図	
10	試作モデル製作	
11	タイル張り	
12	自動車板金	
13	曲げ板金	
14	配管	
15	電子機器組立て	
16	電工	
17	工場電気設備	
19	左官	
20	家具	
21	建具	
22	建築大工	
23	貴金属装身具	
24	フラワー装飾	
25	美容	
26	理容	
27	洋裁	
29	自動車工	
32	和裁	
34	レストランサービス	
37	ITネットワークシステム管理	
38	情報ネットワーク施工	
39	ウェブデザイン	
41	時計修理	
42	移動式ロボット	
35	車体塗装	都立中央・城北職業能力開発センター板橋校 板橋区舟渡2-2-1
7	フライス盤	都立城南職業能力開発センター大田校（大鳥居旧校舎） 大田区本羽田3-4-30
9	電気溶接	都立城東職業能力開発センター 足立区綾瀬5-6-1
8	構造物鉄工	都立多摩職業能力開発センター 昭島市東町3-6-33
36	冷凍空調技術	都立多摩職業能力開発センター府中校 府中市南町4-37-2
31	造園	都立木場公園 江東区木場4・5丁目、平野4丁目、三好4丁目、東陽6丁目
18	石工	東京都港湾局用地 江東区青海1丁目 ※ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」駅前
40	とび	
3	精密機器組立て	千葉職業能力開発促進センター［ポリテクセンター千葉］ 千葉県千葉市稲毛区六方町274
6	旋盤	千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター ［高度ポリテクセンター］ 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
2	プラスチック金型	大田区産業プラザPi0 大田区南蒲田1-20-20
28	洋菓子製造	学校法人啓倫学園　国際製菓専門学校 立川市曙町1-32-1
30	西洋料理	学校法人誠心学園　東京誠心調理師専門学校 大田区蒲田3-21-4
33	日本料理	学校法人後藤学園　武蔵野調理師専門学校 豊島区南池袋3-12-5
42職種		14会場